

6000

8000

政務官 書記官 回付(決行前)

(決行後)

密 案

陸

軍

陸滿機密受第七二號

起元廳(課名)

參謀本部

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成改正要領、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊ノ編成改正要領、同細三關スル件

保存期限	決裁指定	決行指室
------	------	------

受領	件名
陸滿機密受第七二號	滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成改正要領、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊ノ編成改正要領、同細三關スル件

政務次官

參與官 高級副官 主務局長

補任	徵募	馬政	衣糧	衛生	法務
軍事	軍務	戰備	機	衛生	法務
防備	銃砲	戰備	機	衛生	法務
兵務	主計	戰備	機	衛生	法務

書記官	主務	副官	局長
書記官	主務	副官	局長
書記官	主務	副官	局長
書記官	主務	副官	局長

局長	副官	主務	書記官
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日

陸軍部

陸軍部 參謀本部 陸軍部 參謀本部

陸滿機密

參謀總長へ回答案

首題ノ件ニ付本月六日附臨參機第一三五號第一照會ノ趣異存ナシ

上
去久
案

陸滿機密第三七號

昭和三年十月六日

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派遣第四

師團、同留守部隊ノ編成改正要領制定方施行ノ件

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派遣第八師團、同

留守部隊ノ編成改正要領制定ノ件 允裁相成候ニ付テハ別紙軍令

案ノ通之カ施行ヲ命セラレ度謹テ奏ス

上奏
裁可
十月六日
大關送

朕滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派遣第四師團、

同留守部隊ノ編成改正要領ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名 御璽

年 月 日

陸軍

陸軍大臣

軍令陸甲第 號

一別紙ノ通一

軍令陸甲第二十八號

十月六日

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊ノ編成改正要領細則規定ノ件

關係陸軍諸部隊へ達案

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊ノ編成改正要領細則別紙ノ通定ム

陸清機密第三九號

昭和拾貳年拾月六日

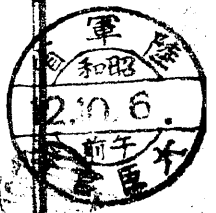
202





七二

本部 陸軍機第一三五 補第一



陸軍

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣

及滿洲派遣第四師團、同留守部隊ノ編成

改正要領、同細則ニ関スル件照會

昭和拾貳年拾月六日 參謀總長 載仁親王

陸軍大臣 杉山元殿

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及

滿洲派遣第四師團、同留守部隊ノ編成改正要

領、同細則別冊ノ通起案セシニ付、異存無ク

ハ要領ニ在リテハ可仰 允裁細則ニ在リ

テハ令達方取計ニシテ度照會ス

本協議用

極秘

七拾五部ノ内第 七言 號

昭和十二年十月四日
參謀本部第三課

滿洲派遣第八師團同留守部隊ノ編成派遣及
滿洲派遣第四師團同留守部隊ノ編成改正要領

0013

0014

4050

滿洲
編成

0014

8D 8D

滿洲
派
改正

す
み

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣
及滿洲派遣第四師團、同留守部隊ノ編成改

正要領

第一條 本要領ハ滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成
派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊ノ編成改正ニ關
スル事項ヲ定ム

本要領中特ニ規定セサル事項ニ關シテハ昭和十一年
軍令陸甲第一號滿洲派遣師團、同留守部隊ノ編成派遣
並歸還復歸要領其ノ他關係諸條規ヲ準用スルモノト
ス

第二條 本要領ニ依リ編成又ハ編成改正スヘキ部隊其
ノ編制、編成管理官左ノ如シ

滿洲派遣師團										分區
師團司令部留守隊										部 隊 編 制
步兵旅團司令部										
步兵聯隊										編成管理官
騎兵聯隊										
野砲兵聯隊										
工兵聯隊										
通信隊										
輜重兵中隊										
師團司令部留守隊										
步兵聯隊留守隊										
騎兵聯隊留守隊										
野砲兵聯隊留守隊										
工兵聯隊留守隊										
昭和十一年軍令陸甲第一號										師第 團長 四
附表第一										
昭和十一年軍令陸甲第一號										師第 團長 八
附表第二										
昭和十一年軍令陸甲第一號										摘 要
附表第三										
昭和十一年軍令陸甲第一號										第八師團長管理部隊 ハ之ヲ新ニ編成スルモノ トス
附表第十										
附表第九										第四師團長管理部隊 ハ現滿洲派遣第四師 團及同留守部隊ノ各 關係部隊ヲ編成改正 ス但シ師團司令部歩 兵旅團司令部、師團 司令部留守部ハ現在 ノ當該部隊ヲ其ノ儘 之ニ充當スルモノトス
附表第八										
附表第七										第一號
附表第五										
附表第四										第一號
附表第三										
附表第二										第一號
附表第一										

備考
一 留守部隊内ノ大連隊ハ第一ヨリ一連ノ番號ヲ附ス但シ工兵聯隊留守隊ノ中隊ハ第三中隊トス

第三條 前條ノ各部隊ハ昭和十一年軍令陸甲第一號滿

洲派遣師團、同留守部隊ノ編成派遣並歸還復歸要領ニ據ルノ外左記各號ニ依リ編成スルモノトス

一 工兵第四聯隊留守隊ノ第三中隊ニハ現在ノ第三

中隊ノ人馬ヲ充當シ其ノ不足ニハ在郷者、徵發馬匹

ヲ充ツルモノトス

二 前號以外ノ部隊ハ編成管理師團長隸下ノ人馬前

ヲ除ク、陸軍大臣ノ特ニ配屬スル人馬及在郷者、徵發

馬匹ヲ充用シ各中隊ノ素質ハ概テ平等ナラシムル

モノトス

第四條 第二條ノ部隊ハ本要領受領後成ルヘク速ニ其ノ編成又ハ編成改正ヲ完結スルモノトス

第三條 留守司令官、留守部隊長、派遣輜重兵中隊長ノ職權及業務ニ關シテハ昭和十一年軍令陸甲第一號滿洲派遣師團、同留守部隊ノ編成派遣竝歸還復歸要領第八條乃至第十條第一項及同第十三條ノ規定ニ拘ラス左記各號ニ據ルモノトス

- 一 留守司令官ハ師團長ニ隸シ師管ノ防衛ニ關シテハ師團長ノ職務ヲ又其ノ他ノ師團長ノ職權(軍法會議ノ管轄及上奏ヲ除ク)ニ關シテハ師團長ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行ヒ且師管ノ業務ヲ處理ス
- 二 留守司令官ハ師團長ニ代リテ師團司令部條例第

四乃至第六條ノ職務ヲ行フ

留守司令官ハ衛戍勤務及補助憲兵ノ任命ニ關シテ

ハ團隊長トス又師管内衛戍司令官ヲ區處ス

三 留守隊長殘置部隊ハ留守司令官ニ派遣輜重兵中

隊長ハ派遣師團長ニ隸ス但シ派遣留守兩部隊ニ關

連スル業務ニ關シテハ派遣部隊長(輜重兵聯隊長)ハ

留守部隊長(派遣輜重兵中隊長)ヲ直接區處スルコト

ヲ得

第六條 當分ノ内滿洲派遣第四、第八師團ニ定員外トシ

テ各將校以下約一千名ヲ増加ス

前項人員ニハ在郷者ヲ充ツルモノトス

第七條 昭和十一年軍備改變要領ニ示ス各部隊ノ増加

人馬ハ之ヲ各關係留守部隊ヲ殘置部隊ノ定員數外トス

第八條 第四第八師團長ハ初年兵教育ノ爲一時所要ノ

人員ヲ派遣師團ヨリ留守部隊ニ歸還セシメ又ハ准士

官以下ノ一部ヲ交代セシムルコトヲ得

第九條 第四第八師團留守部隊ヲ殘置部隊ニハ補充上若

ハ教育上必要ナル人馬ヲ定員數外トシテ増加スルコ

トヲ得

第十條 編成管理官ハ編成又ハ編成改正完結セハ速ニ

之ヲ陸軍大臣參謀總長ニ報告シ且將校各部將校官准士

官職員表、人馬一覽表及編成、編成改正完結日一覽

表ヲ前諸官ニ呈出スルモノトス

第十一條 本要領實施ニ關スル細部ノ事項ハ陸軍大臣、

參謀總長協議決定ス

附 則

- 一 本要領ニ依ル部隊ハ臨時編成部隊トス
- 二 本要領實施ニ伴ヒ昭和十二年度動員計畫ハ成ルヘク速ニ所要ノ修正ヲ行ヒ其ノ完了時期ヲ陸軍大臣參謀總長ニ報告スルモノトス

歩兵聯隊留守隊編制表

階級	留守隊本部		大隊本部		中隊		大隊本部計		機關銃中隊		歩兵砲中隊		留守隊本部	
	人員	乘馬	人員	乘馬	人員	乘馬	人員	馬數	人員	乘馬	人員	乘馬	人員	馬數
階級	留	留	留	留	留	留	留	留	留	留	留	留	留	留
中佐	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
少佐	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
中尉	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大尉	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中尉(少)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
准尉	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
曹長	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
軍曹(伍長)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
上等兵	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一等兵	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	25	4	5	2	15	8	47	2	19	10	14	1	34	8
主計尉官	2	4	5	2	15	8	47	2	19	10	14	1	34	8
主計下士官	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
總工下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
裝工下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
軍醫尉官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
衛生下士官	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
衛生兵	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
技術准尉	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
銃工下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	25	4	5	2	15	8	47	2	19	10	14	1	34	8

考

(一) 大隊本部 書記一名、炊事掛ノ兼勤トス

(二) 中隊上(一)(二)等兵ノ吹喇叭手四名、(三)等兵ノ吹銃工兵少クモ二名、總工、靴工兵少クモ各二名ヲ含有ス

(三) 機關銃中隊上(一)(二)等兵ノ吹喇叭手四名、蹄鐵工兵少クモ二名、(三)等兵ノ吹銃工兵少クモ四名、總工、靴工兵少クモ各二名ヲ含有ス

(四) 歩兵砲中隊上(一)(二)等兵ノ吹喇叭手三名、蹄鐵工兵少クモ一名、(三)等兵ノ吹銃工兵少クモ四名、總工、靴工兵少クモ各二名ヲ含有ス

(五) 留守隊本部附中(少)尉ハ技術准尉ヲ以テ、技術准尉ハ銃(火)工下士官ヲ以テ充ツルコトヲ得

(六) 本表、外豫備馬二頭ヲ置ク

(七) 本表、外所要ノ人馬ヲ増加スルコトヲ得

騎兵聯隊留守隊編制表

階級区分	留守隊本部		中隊		留守隊(中隊三箇)計	
	人員	乘馬	人員	乘馬	人員	馬數
中(少)佐	留守隊長 一	一			一	一
大尉	副官 一	二	中隊長 一	一	一	一
中尉				三	三	
准尉				一	一	
曹長	書記 三	三		一	一	
軍曹(伍長)	書記 二	二		一	一	
上等兵				一五	一〇	二七
一(三)等兵				七五	一〇	二七
計	八	八	一〇六	九六	二二〇	二〇〇
主計尉官	一				一	
主計下士官	二				二	
縫(裝)工下士官	一				一	
車醫尉官	一				一	
衛生下士官	一				一	
衛生兵			二		四	
獸醫尉官	一				一	
獸醫務下士官	一				一	
鞍工下士官	一				一	
銃工下士官	一				一	
計	一〇		二		一四	
合計	一八	八	一〇八	九六	二三四	二〇〇

備考

(一) 本部書記ノ一人名ハ炊事掛ノ兼勤トス

(二) 中隊上(三)等兵ノ一喇以手ニ名蹄鐵工兵少クモ四名一(三)等兵ノ一鞍工銃工縫工靴工兵少クモ各二名ヲ含有ス

(三) 本表ノ外駄馬七頭及派遣部隊盟年度定期補充新馬二十三頭ヲ置ク

(四) 本表ノ外所要ノ人馬ヲ増加スルコトヲ得

野砲兵聯隊留守隊編制表

考	備	留守隊本部		中隊		留守隊(中隊四箇)		馬數
		人員	乘馬	人員	乘馬	人員	馬數	
		留守隊長	1					
		副官	1	中隊長	1			
		少佐	1					
		大尉	2					
		中尉	1	3	3	19	19	
		准尉		1	1	4		
		曹長	3	1				
		軍曹(伍長)	3	10		50	222	
		上等兵		16		424		
		一(二)等兵		90				
		主計尉官	1	1	4	500	244	
		主計下士官	2					
		装工下士官	1					
		軍醫尉官	1					
		衛生下士官	2					
		衛生兵		2		8		
		獸醫尉官	1					
		獸醫務下士官	2					
		火工下士官	1					
		鞍工下士官	1					
		鍛工下士官	1					
合計			14	2	4	522	244	
合計			26	12	12	522	244	

(一) 第四中隊八十榴中隊、其、他、八野砲中隊トス
 (二) 本部中(少)尉ハ技術准尉ヲ以テ充ツルコトヲ得
 (三) 本部書記、内一名ハ炊事掛、兼勤トス
 (四) 中隊上(二)等兵、内刺以手ニ名、火工兵少クモ二名、蹄鐵工兵少クモ三名、一(三)等兵、内鞍工鍛工木工縫工靴工兵少クモ各ニ名ヲ含有ス
 (五) 本表、外所要、人馬ヲ増加スルコトヲ得

本協議用

極秘

七拾五部ノ内第(七)百號

昭和十二年十月四日
參謀本部 第三課

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲
派遣第四師團、同留守部隊ノ編成改正要領細則

0025

決定案

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊ノ編成改正要領細則

第一條 本細則ハ滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派

遣第四師團、同留守部隊ノ編成改正要領以下要領ト略稱ス實施ニ關スル細部

ノ事項等ヲ規定スルモノトス

第二條 要領實施ニ關シテハ特ニ規定スルモノノ外昭和十一年陸滿機

密第五號滿洲派遣師團、同留守部隊ノ編成派遣並歸還復歸要領細則

以下永久細則ト略稱ス 其ノ他關係諸條規ヲ準用スルモノトス

第三條 本編成、編成改正ノ爲陸軍大臣ノ特ニ配屬スル人員及其ノ差出

分附表第一ノ如シ

第四條 要領第三條ニ依ル人馬ノ充用ニ關シテハ左記各號ニ據ルモノ

トス

一 各留守部隊ノ人馬ニハ先ツ昭和十二年度動員計畫以下年度計畫ト略稱ス

當該留守部隊及未動員部隊當該常設部隊ヲ除クニ充當シアル現役人員、第六

條第二項ニ依リ生スル過剩員及平時保管馬ヲ充用ス但シ現ニ派遣

地ニ在ル人馬初年兵教育ノ爲必要ナル准士官以下ヲ除クハ之ヲ歸還セシメサルモノト

ス

前項人馬ヲ充用シタル不足ニハ年度計畫上當該留守部隊要員ニ充

當シアル在郷者成ルヘク新年次ノ者ヨリ充用シ且爾後ノ補充ヲ願慮シ且編制定員ノ約三分ノ一乃至六分ノ一ハ未教育者トス

及徵發馬匹ヲ充用スルモノトス

二 各派遣部隊ノ人馬ニハ前號ニ示ス以外ノ現役人員及平時保管馬

ヲ充用シ其ノ不足ニハ年度計畫上當該常設部隊ニ充當シアル在郷

者 成ルヘク及徵發馬匹 現ニ各部隊ニ在ルヲ充用スルモノトス
者 新年次ノ者 徵發過剩馬ヲ含ム

第五條 第八師團司令部留守部ニ兵站基地司令部業務ノ爲左記人員ヲ

増加ス

佐尉官 二 下士官 四 主計下士官 一

前項人員ハ年度計畫上第八兵站基地司令部ニ充當シアル者ヲ充用ス
ルモノトス

輜重兵第四聯隊ニ獸醫務下士官一ヲ増加ス

第六條 要領第六條ニ依リ滿洲派遣第四、第八師團ニ増加スル人員ハ

附表第二ノ如シ

前項人員ハ現ニ各部隊ニ在ル召集者未教育者ヲ除クヲ充當シ其ノ過剩ハ第四條第一號ニ依ルモノトシ其ノ不足ハ年度計畫上當該常設部隊要員ニ充當シアル在郷者ヲ充用スルモノトス

第七條 要領第九條ニ依リ初年兵教育ノ爲第四、第八師團留守、殘置部隊ニ附表第三ノ人員ヲ増加ス

前項人員ハ年度計畫上第五動員一號ニ充當シアル者ヲ充用スルモノトス
第八條 第四、第八師團留守部隊ノ内支那事變地ニ在ル滿洲派遣臨時編成部隊ノ補充ヲ擔任スル場合ニ在リテハ補充ヲ要スル部隊編制定員ノ五分ノ一以内ノ人員ヲ増加スルコトヲ得

前項ノ増加人員ハ年度計畫上補充隊要員又ハ待命員ヲ充用スルモノトス

第九條 動員 臨時編成部隊ヲ含ムノ補充要員ニハ年度計畫上ノ補充隊教育基幹

人員ヲ充用セス又補充等ノ爲留守部隊ニ缺員ヲ生シタル場合ニ在リテハ待命員未教育者ヲ含ムヲ以テ之ヲ補填スルモノトス但シ第七條ノ増加人員ハ第一期終了後ハ補填セサルモノトス

第十條 前諸條ニ依リ充用スル在郷者、馬匹ヲ臨時召集、徵發スルニ當リテハ成ルヘク過剩人馬ヲ生セサル如ク實施スルモノトス

第十條 輕重兵第四、第八聯隊ノ平時編制ニ對スル缺員（數）ハ第

四條 未教育者ニ準シ臨時召集又ハ徵發セル人馬ヲ以テ補填スルモノトス

第十一條 派遣第八師團ノ先發人員中歩兵聯隊及野砲兵聯隊ニ在リテハ

永久細則附表第三ニ示ス者ノ外主計尉官各一ヲ増加スルコトヲ得

第十三條 各留守隊 騎兵第四聯隊留守隊及ノ部隊裝備用兵器ノ定數ハ
工兵聯隊留守隊ヲ除ク

附表第四乃至第七ノ如シ

第十四條 第八師團ノ派遣部隊ノ下士官、兵ニ要スル著裝携行被服中

一揃ハ永久細則第二十七條ニ拘ラス編制人員 定員外者ニ應スル戰用
ヲ除ク

品ヲ使用シ又永久細則第二十八條ニ拘ラス編制人員ニ應シ各毛布一
枚ヲ戰用品中ヨリ携行スルモノトス

第十五條 各部隊ノ戰用諸品ノ充當ハ永久細則ノ規定ニ依ルノ外要ス

レハ各留守部隊ニハ補充隊用戰用諸品ヲ充當シ尙不足スル兵器ハ陸軍兵器廠ニ請求スルモノトス

陸軍兵器本廠長ハ前項ノ請求ニ基キ之ヲ交付スルト共ニ其ノ品目員數ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第十六條 派遣部隊人員ハ永久細則第三十二條ニ拘ラス個人用食器並分配用食器ヲ携行セス關東軍司令官ニ於テ整備ノト之ヲ交付スルモノトス

第十七條 第四、第八師團ハ永久細則第四十條割註ニ拘ラス衛生隊三分ノ一、第一野戰病院ニ對スル衛生材料 對瓦斯衛生材料ヲ携行スルモノトス

第十八條 派遣部隊人馬等ノ輸送ハ永久細則ニ據ルコトナク左記各號ニ依ルモノトス

一 鐵道船舶輸送ハ參謀總長ノ定ムル所ニ基キ左記諸官之ヲ計畫處理スルモノトス

内地鐵道輸送

第一鐵道線區司令官

朝鮮、滿洲内鐵道輸送

野戰鐵道司令官

船舶輸送

第一船舶輸送司令官

二 編成管理官ハ速ニ派遣部隊（人馬）及資材ニ關スル輸送請求表様式ハ陣中要務令附録ニ準シ且希望スル輸送順序ヲ附記スルモノトス 五通ヲ參謀總長ニ呈出シ又輸送實施ニ關シ派遣部隊（人馬）ヲシテ輸送處理擔任者ノ區處ヲ受ケシムルモノトス

三 輸送間ニ於ケル給養擔任區分左ノ如シ

内地

被輸送部隊長

朝鮮

朝鮮軍司令官

滿洲
關東州
ヲ含ム

關東軍司令官

船内

第一船舶輸送司令官

乗船、上陸地ニ於ケル兵站業務ハ當該地所管軍司令官若ハ師團長

(留守師團長)ノ擔任トス

四 輸送實施ニ必要ナル軍隊輸送用補助材料ハ第一船舶輸送司令官

保管ノモノヲ使用シ其ノ不足ハ陸軍運輸部長臨機調辨スルモノト

ス

附 則

一 本編成派遣及編成改正實施及部隊人馬ノ維持ニ要スル經費ハ特ニ定ムルモノノ外左ノ區分ニ據ルモノトス

第八師團、同留守部隊 臨時軍事費

第四師團、同留守部隊 滿洲派遣部隊ニ在リテハ滿洲事件費、

留守部隊ニ在リテハ本編成改正ノ爲ニ特ニ要スル經費及本編成改正ノ爲ニ生スル增加人馬ニ要スル經費ハ臨時軍事費トシ其ノ他ハ従前ノ通りトス

二 永久細則第六十一條第一項ノ給與ニ關スル規定ハ編成又ハ編成改正完結ノ日ヨリ營内居住下士官以下三百名未滿ノ部隊ニ限リ之ヲ適

0034

用ス

要領附則ニ依リ年度計畫ノ修正ニ當リテハ派遣、留守部隊ノ人

馬資材ハ之ヲ當該關係部隊ニ充當スルモノトス

附表第一

陸軍大臣ノ特ニ配屬スル人員及差出區分表		被配屬部隊	配屬人員	差出區分
考 備	第八師團司令部留守部	滿洲派遣第四師團	衛生下士官 九	留守第五師團
		遺第八師團司令部	參謀少佐(大尉) 附號業務 尉官 調査業務 尉官 氣象業務 尉官 技手 通譯要員將校(通譯) 主計少佐(大尉) 主計尉官	第十九留守第二十師團各三 留守第三師團 四 第七師團 二
		留守司令官中(少)將 參謀中佐 主計中(少)佐 主計尉官 獸醫中(少)佐	一 一 一 一 一	

9800

(一) 本表人員中差出區分ヲ示ササルモノハ別ニ之ヲ達ス
(二) 本表人員ハ被配屬部隊到着ノ日ヲ以テ轉屬セシムルモノトス

附表第二

滿洲派遣第四、第八師團增加人員區分表

考 備	部 隊 區 分			
	輜重兵中隊	野砲兵聯隊	步兵聯隊	中(少)尉
(一)本表ノ人員ハ各一隊ニ増加スヘキ人員ヲ示ス (二)本表ノ外第八師團兵器部ニ部員少佐(大尉)一名、技術准士官(下士官)一名ヲ増加ス	八	一〇	一〇	下士官
	一一	一四	一四	上等兵
	一九	二四	二四	一(二)等兵
	一一二	一四二	一四二	計
	一五〇	一九〇	一九〇	

0040

0041

品目	部	歩兵隊						計
		留守隊	大隊本部	中隊	中隊	中隊	中隊	
一〇一式 輝葉箱組	輝葉箱組							四
三八式銃実包	銃実包			二七八〇	五三六四	二二六八	一五九六	一三二五五六
十四年式拳銃実包	拳銃実包			三八四	一五一二	七六八	七六八	三八四
九二式歩兵銃馬具	馬具							
四一式馬具	馬具							
六式機關銃馬具	馬具							
六式機關銃馬具	馬具					一八	二六	二六
三〇式三脚脚及器具箱	脚及器具箱							
三〇式三脚脚及器具箱	脚及器具箱							
三〇式三脚脚及器具箱	脚及器具箱							
三〇式三脚脚及器具箱	脚及器具箱							
三〇式三脚脚及器具箱	脚及器具箱							
三〇式三脚脚及器具箱	脚及器具箱							
三九式輜重車甲	輜重車甲							四
輜重	輜重							
繫馬具	繫馬具							
繫馬具	繫馬具							
繫馬具	繫馬具							
三〇式輜重車馬具	輜重車馬具							
輜重車馬具	輜重車馬具							
輜重車馬具	輜重車馬具							
輜重車馬具	輜重車馬具							
輜重車馬具	輜重車馬具							
輜重車馬具	輜重車馬具							
輜重車馬具	輜重車馬具							

備考

一四一式山銃馬具托架用ハ大架用ヲ以テ代用スルコトヲ得

二九四式三七托銃文ニ屬スル兵器ハ粗製砲文ニ屬スル兵器ヲ以テ代用スルコトヲ得

三四一式山銃文ニ附屬スル兵器ハ一式山銃文ニ附屬スル兵器ヲ以テ代用スルコトヲ得

五〇四年式拳銃同実包ハ二六式拳銃同実包ヲ以テ代用スルコトヲ得

表外左ノ器材ヲ增加ス

小円匙三五、小十字銀五〇、鶴嘴二〇、大鏡四

諸部隊兵器表

品目	部隊		計
	前守隊本部	中隊前守隊	
三十二年式軍刀甲	五	一〇一	一〇六
三十年式銃劍	七	二	九
十四年式騎銃		九八	九八
十四年式拳銃	五	三	八
十一年式輕機銃		二	二
十一年式 彈匣		六	六
十一年式 彈藥箱		一四	一四
九二式重機銃		二	二
九二式重機銃 高射用具		二	二
九二式 乙器具箱組		一	一
九二式 乙彈藥箱組		一	一
二八式銃 乙器具箱組		一六	一六
十四年式拳銃 乙器具箱組	一六	九六	一一二
三十年式來馬具	五	九二	九七
料 枝乘馬具	三	四	七
銃 器具箱組		一	一
器具箱組 器具箱組		一	一
彈藥箱組 器具箱組		八	八
十一年式 銃匣		四	四
十一年式 彈藥箱組		三	三
十三年式 雙眼鏡		二	二
刀劍 附刃器	八	二	一〇
職 携行銃器具	一	二	三
職 携帶鞍器具	二	二	四

0042

考	備	騎兵隊演習器材		部		隊	
		部	隊	部	隊	部	隊
	一 十三年式雙眼鏡ハ三七式雙眼鏡ヲ以テ代用スルコトヲ得 二 十四年式拳銃同実色ハ二十六年式拳銃同実色ヲ以テ代用スルコトヲ得 三 本表ノ外左ノ器材ヲ増加ス 小円匙 二五、円匙 一、小十字鋏 一、十字鋏 五						

諸部隊兵器表

品目	野砲兵隊留守隊			
	留守隊本部	野砲中隊	十榴中隊	留守隊中隊留置計
三十二年式軍刀乙	六	一	一	一
三十年式銃劍	一一	一一八	一一八	四八三
三八年式騎銃		一六	一六	六四
十四年式拳銃	六	一八	一八	七八
三八式砲		六	六	一八
野砲		六	六	一八
九式十糧榴砲				一八
榴砲				一八
野砲				一八
臨時野砲兵觀測車		一	一	四
修正式觀測車	一			一
十四年式拳銃實包	一九二	四二六	四二六	一八五六
三十年式乘馬具	六	五四	五四	二二二
將校乘馬具	六	四	四	二二
砲馬具				九四
前(中)馬用	四	二四	一八	七四
後馬用	二	二	九	四七
十三年式雙眼鏡		四	九	一六
刀劍附刃器	九		二	九
刺	一			九
鐵工具	三			三
木工工具	三			三
鐵工工具	三			三
行携	三			三
野砲兵隊演習器材	一			一

備考
 一九一十糧榴砲之二附屬スル兵器ハ三八式野砲之二附屬スル兵器ヲ以テ代用スルコトヲ得
 二野砲觀測車ハ豫備品車(前車外部附隨品及後車外部附裝)

考	備
五 臨時野砲兵觀測具ノ定數ハ屬表ノ通トス	<p>品以外ノ附隨品ヲ除ク)ヲ以テ代用シ臨時野砲兵觀測具及通信器材ヲ収容スルモノトス</p> <p>三 十三年式雙眼鏡ハ三七式雙眼鏡ヲ以テ代用スルコトヲ得</p> <p>四 修正九〇式砲兵重(輕)觀測車ハ九〇式重(輕)觀測車ヲ以テ代用スルコトヲ得</p>

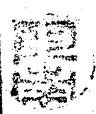
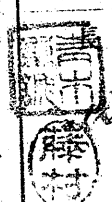
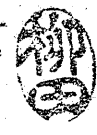
品目		数
方	向板	一
三	脚架	三
測	角器	一
携	帶圖板	二
三	十糧尺	一
平	圓透明分畫板	二
透	明分畫板	二
磁	針方向板	一
計	算尺	一
密	位計算尺	一
十	米卷尺	二
標	旗(組)	一
標	柱(組)	一
ア	七分レン燈	二
三	七式地形鏡	二
一	彈測板	一
測	板羅計	一
測	斜儀	一
セ	ルロイド大三邊板	一
音	響測遠器	一
三	脚分度器	一
携	帶風速計	一
携	帶氣壓計	一
携	帶風信器	一
寒	暖計	一
三	文會用具	一
紙	製耐擊修正板	二
紙	製受火高破裂筒	一
諸	用紙測地用	一
諸	用紙手簿類	一

附表第五番表

臨時野砲兵觀測具定數表

陸軍省



0047

連帶課 各局課	参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス   	決裁指定	件 滿洲派遣第八師團、同留守部隊、編成派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊ノ編成改正要領、同細則ニ関スル件 名	補佳 徵募 恩賞 御中 整 備 課	連帶票 十月六日
		印帶連 局長 課			


0048

連帶課 各局課		決裁指定		件名 滿洲派遣隊八師團、同留守部隊、編成改正要領、同細則ニ関スル件	軍事 軍務 御中 整備 課	連帶票	十月六日
		連帶印	連帶局				
參考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス		連帶印	連帶局	連帶課			



0049

連帶課 各局課	参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 	決裁指定	件 滿洲派遣第八師團、同留守部隊、編成派遣及滿洲派遣第四 師團、同留守部隊、編成改正要領、同細則ニ関スル件 名	兵務 防備 馬蹏 御中 整 備 課	連帶票 十月六日
		印帶連 局長 			





0500

連帶課		決裁指定		件 滿洲派遣第八師團、同留守部隊、編成派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊、編成改正要領、同細則ニ関スル件	御中 整備課	連帶票	十月六日
各局課		連帶局長					
參考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス		連帶課長		御中		十月六日	日迄
				整備課			

1900

連帶課 各局課	参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトシ  	決裁指定	件 滿洲派遣第八師團、同留守部隊、編成派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊、編成改正要領、同細則ニ関スル件 名	銃砲 機械 御中 整備 課	連帶票 十月六日	
		連帶印				連帶還付期限
		局長				十月六日迄

0052

連帶課	各局課	参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス    	決裁指定	件名 滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成改正要領、同細則ニ関スル件 師團、同留守部隊ノ編成改正要領、同細則ニ関スル件	主計	衣糧	連帶票 十月六日 御中 整備課
			連帶印		連帶局長	監査	
			連帶還付期限				
			十月六日迄				

0050

連帶課		決裁指定		件名 滿洲派遣第八師團、同留守部隊、編成派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊、編成改正要領、同細則ニ関スル件	衛生 警事	御中	整備課
各局課	參考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス	連帶印 局長	連帶課 長				

0054

連帶課 各局課	決裁指定		件 滿洲派遣第八師團、同留守部隊、編成派遣及滿洲派遣第四師團、同留守部隊、編成改正要領、同細則ニ関スル件
	印帶連	連帶	
	局長	課長	
參考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス	連帶還付期限		御中 整備課
	十月六日迄		十月六日

0055

軍事機密機

第一三九號第三

參謀 陸軍機第一三九號第三

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派遣第四師團
同留守部隊ノ編成改正要領御裁可ノ件通牒

昭和十二年十月六日

參謀總長 載 仁 親

陸軍大臣 杉 山 元 殿

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通御裁可相成リシニ付通牒ス

追テ御裁可書ハ用濟後返戻アリ度

御裁可書返戻件

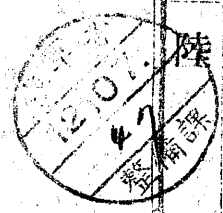
首題ノ件ニ關シ別紙ノ通御裁可相成リシニ付通牒ス

奉 託

陸軍機密第四一號

昭和十二年十月七日

滿洲派遣第八師團、同留守部隊ノ編成派遣及滿洲派遣
第四師團、同留守部隊ノ編成改正要領御裁可ノ件通牒



9500

閱

弘動第六一四號

編成部隊完結日ノ件報告

昭和十二年十月二十六日

第八師團長侯爵前田

陸軍大臣 杉山 元 殿

派遣第八師團留守部隊編成完結日別紙ノ通ニ付報告ス

第 七 二 號 其 五

昭和十二年十月二十三日
陸軍省 大臣 官 印

田島

陸軍省
十二月二十三日
陸軍課

陸軍省
121029
整備課

第八師團長印

十月廿八日
整備課
八師團長印

陸軍

2900

聞

軍事機密格第七二〇六七

弘動第六三一號

編成書類呈出ノ件報告

昭和十二年十一月二日

第八師團長侯爵前田利爲

陸軍大臣 杉山 元 殿

滿洲派遣第八師團、同留守部隊將校、各部將校文官職員表、同人馬一覽表並同編成完結日一覽表別紙ノ迪ニ付報告ス



陸軍

8500

閣

稿機 七二八

弘動第六四三號

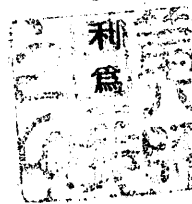
人馬一覽表訂正ノ件報告

昭和十二年十一月六日

第八師團長侯爵前田利爲

陸軍大臣 杉山 元 殿

十一月二日弘動第六三一號ヲ以テ報告セル滿洲派遣第八師團人馬一覽表ヲ別紙ノ通訂正シタルニ付報告ス



陸軍

滿洲國第七二號

四師留歸編第七〇號

編成改正完結ニ伴フ諸報告提出ノ件報告

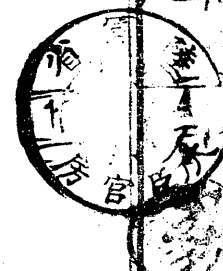
昭和十二年十一月十三日

第四師團長松井命

陸軍大臣 杉山元殿

留守部隊ニ係ル百題ノ件昭和十二年滿洲派遣第四師團同留守部隊ノ
編成改正要領第十條ニ依リ別紙ノ通提出ス
追テ派遣部隊ノ分ハ別ニ派遣地ヨリ提出ス

職 員 表	陸軍省
十一月八日	陸軍省
前位	陸軍省
後位	陸軍省



(大阪上田納)

提出目録

一 滿洲派遣第四師團留守部隊將校
高等文官 職員表
准士官ヲ含ム

三部
陸軍部

二 滿洲派遣第四師團留守部隊人馬一覽表

一部
陸軍部

三 滿洲派遣第四師團同留守部隊編成改正完結日數一覽表

一部
陸軍部

陸軍

(大阪 上田納)

1900

軍事機密告 七二 陸軍

阪新編第一號

編成改正部隊馬覽表及編成改正
先結日覽表、件報告

昭和拾陸年壹月八日

松井部隊長 松井

陸軍大臣 杉山 元昭

首題、件昭和十二年十月六日軍令陸甲第三
第十條依別冊、通報告ス

別冊

陸軍省 32174 47

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 杉山 元昭

陸軍 32

機密 第七二五六一

秘

電報譯

一月二日 午前午後 七時 壹月拾參日 一五分 著

大臣宛 發信者 第四師團長

四師電第三六二號

當師團ハ去ル十二月十七日ヲ以テ其編
制改正ヲ完了ス 書類ハ一月九日發送

濟

陸軍省 13.1.13 前大臣

陸軍省 13.1.13 32 軍事課

陸軍省 前 9-10 送信

陸軍省 13.1.14